

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

07
2014
JULY

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



(第28回 寒河江支部総会)



(第10回 庄内支部総会)



(第20回 さくらんぼ支部総会)



(第28回 山形支部総会)



(第18回 置賜支部総会)

支部総会報告

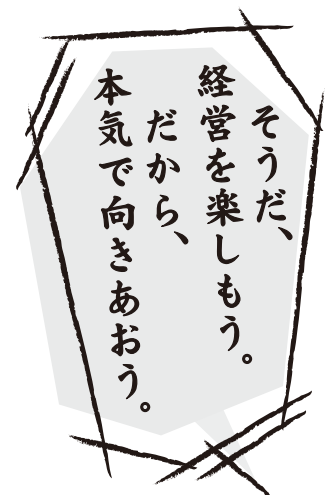
食・農部会 エネルギー学習会

おらだもエネルギーしてみっか!

シリーズ「おれもやってみた」編～食とエネルギーは一次産業から～

第17回 女性経営者全国交流会開催

会社の元気を地域の元気に 女性が学ぶ! 女性に学ぶ! 共に学ぶ!



2014年度スローガン

◆ 支部総会報告 ◆

第20回さくらんぼ支部総会

明るく、喜んで働こう！本気で真剣に経営しよう！



第20回さくらんぼ支部総会が5月21日、天童ホテルにて開催されました。2014年度スローガン「明るく、喜んで働こう！本気で真剣に経営しよう！」をかかげ、①時代の激変に適応し、会社経営を真剣に考えよう（企業づくり）②同友会型企業づくりを実践し、あてにされるさくらんぼ支部になろう（支部づくり）③中小企業憲章の精神を地域に広げよう（地域づくり）の3つ重点方針を決定しました。

活動方針の先頭に立つ役員は、新支部長に水沢社長、新副支部長に白鳥常務、齋藤常務が選出され、新たに2名の支部幹事が増え14名体制で活動していきます。

「激動の中において、ますます経営に対する心持が試される時代がやってくる。命をかけるくらい本気で真剣に経営し、社員と共に良い会社を迫及し、経営体質を強化し、地域になくってはならない会社にしていこう」と水沢新支部長が決意を述べました。

来年、設立20周年を迎えるさくらんぼ支部、明るく元

気、楽しい支部活動をさらにブラッシュアップした支部づくりに挑戦していきます。

第2部記念講演は、山形大学 福島真司教授が「真に地域を支える中小企業経営者に願うこと」と題して講演されました。

福島教授は、最初の職場で大学の経営危機を体験し、同じ県内でライバル大学が潰れても、自分の大学に学生が増えることはなく、県全体の大学がだめになる。大学は学生がいないと成り立たないことを実感し、自分は何のために働くのかを突き詰めていったといいます。学生の価値（顧客価値の創造）をつくるのが使命だと語ります。

連携授業で、2011年の東日本大震災の3か月後に岩手、宮城同友会の会員を訪問し、千年に一度の環境下で、会員たちが“市場”をつくり、自分でものを買うことの重要性を知りました。人間にとって仕事を守ることはどういうことなのか、地域を守るといふことは何なのか。「ライバル企業ごとよくなっていく同友会理念は正しい」と強調しました。

今、大学の中でおきていることを紹介し、生き抜く力、本当の自立心が求められ、決断する学問が必要だといいます。困難な状況下でどう立ちむかっていくのか、創造性を発揮し、生きた知識が学生にも社会人にも必要だと感じました。

第18回置賜支部総会

日々変化する環境に対応できる強い会社をめざそう

5月22日、第18回置賜支部総会が、ホテルサンルート米沢に於いて行われました。

総会では、「日々変化する環境に対応できる強い会社をめざそう～よりどころとなる同友会をつくろう～」をスローガンに、2014年度活動方針が決まりました。支部長には長澤武氏、副支部長には八代昌弘氏、佐藤松雄氏、加賀久也氏を再任しました。

記念講演では、宮城興業(株) 高橋和義社長が、「変化に負けない！未来を創る戦略経営」と題して、生き残るためにオンリー1企業をめざしてきた講演をしました。

4代目となる高橋氏が社長に就任した2001年は3割の売上を占める取引先が倒産した時で、最初の仕事は人



員整理でした。子どもの頃、工場周辺で遊んでいると働いている方々から「将来よろしく頼む」と言われて育った高橋社長にとっては苦渋の決断でした。負債を抱え、他社が断る細かい注文をかき集め、新たな展開で乗り越えてきました。

しかし、大量の受注をすれば社員が遅くまで働いて納めるものの利益は薄く、更に次回のコストダウンを求められる。そこで高橋氏は「量にはいかない」と腹をくくり、本当にやりたいことで勝負しようと一足オーダーの靴づくりに転換を図ります。はじめ、社員からは反発をうけましたが、「コンセンサスは後からついてくる」と進め、会社の大きな柱に成長し、現在では取り扱う靴店が全国に増えています。

第28回山形支部総会

明日へ



5月27日、山形ビッグウィングを会場として第28回山形支部総会が開催され、74名が参加しました。

第1部の総会では、「明日へ」をスローガンに、昨年からスタートした会員間のつながりを強化する研究会活動と学びを深め広げる例会づくりを重点とした2014年度活動方針が決まりました。特に今年度は県方針である「時代に適応した経営をめざす・人を生かす経営の推進・連携による仕事づくり」を推進するために、委員会活動と連携を図り企業づくりを支援できる支部活動をめざしていきます。

その先頭に立つ支部長には伊藤尚彦氏が再任され、副

高橋氏は「当社の一足オーダーも今は他社でもやっています。絶対的価値は一瞬で相対的価値に変わり比べられる。商売は血を流さない戦争とと思っている。緻密な戦略をもって腹をくくって進むのがリーダーシップ。これから業界は国際競争にさらされ、かつてない時代を迎える。南陽で靴づくりを続けるために、新たな戦略で取り組みを始めている」と述べました。

支部長には阿部秀顕氏、浅野裕幸氏、伊藤誠氏、高橋洋子氏、金田史生氏を選出しました。

第2部の記念講演では、吹奏楽部の顧問及び指揮者として全国的にもレベルが高いといわれる東北大会で3度の金賞を受賞し、東北代表として全国大会にも出場された山形県立鶴岡南高等学校 教諭 蛸井朗氏を講師に迎え、「生き生きした人材を育てる秘訣は？」と題して講演して頂きました。

蛸井氏は、勝ち負けに捉われず人間形成を目的として、育てることを主体に生徒一人ひとりの適材適所を考え、仕事を与え、個性を伸ばし、みんなで協力し合うチームをつくってきたことを紹介しました。そして、「部活動と中小企業は似ている組織と感じている。正しい願いは必ず叶う」と語りました。

参加者からは、「トップの熱意の大切さ、人を引きつけるには理で分からせても情が伴わなければ成功しない」「理念に共感するからモチベーションがアップし、人が育つのではないか」の感想が寄せられました。

第28回寒河江支部総会

『進む道を示すために…。』～学び・気づき・挑む～

5月30日、第28回寒河江支部総会が、ホテルシンフォニーアネックスで開催されました。記念講演には、会員をはじめ社員、行政、ゲストの方など、140名が参加しました。また、寒河江市 佐藤弘樹市長が来賓として出席され挨拶をいただきました。

リーマンショックから5年、ようやく景気回復に向けて動きだしたといわれていますが、消費税増税でスタートし予断を許さないなかで、自社の未来を明確にし、同

友会の仲間と共に学び続け、社員と共にお客様、地域に必要なとされる企業づくりなどの方針が決定しました。

昨年に引き続き、全会員が主体的に関わる「組」活動を柱とした例会づくり、会員のよりどころとなる寒河江支部づくりにも力をいれていきます。

支部長に佐藤弘康氏、副支部長に若木義寛氏、水戸部厚史氏が昨年に引き続き選ばれ、15名の支部役員が選ばれました。

◆ 支部総会報告 ◆



第2部記念講演は、寒河江市に山形工場を持つ未来工業(株) 代表取締役 山田雅裕氏が「やる気を高める未来工業の挑戦」と題して、神保電器再建の経験をとおり、社員の自主性を育てる企業づくりを講演されました。未来工業(株)は、「日本でいちばん大切にしたい会社」で大賞を受賞し、残業ゼロ、年間休日140日に代表されるように労働環境の整備と自主性を尊重している企業として知られています。

山田社長は昨年6月に代表取締役に就任され、その前の5年間は神保電器(株)の社長を務め、危機的状況を立て

直します。東日本大震災後、仮設住宅関連の仕事受注が転機となったとありますが、再建のカギは「あたりまえのことが出来る」ことだとし、納期遅れをゼロにし新たに信用をつくりあげたといいます。社員は自分たちの仕事は世の中の役に立っていることを自覚し、「経営者は何もしないこと、社員に任せること」と山田社長は語ります。

「残業なし」「報連相なし」「ノルマなし」の本質についてふれ、「強制」は、社員がやらされ感を持つようになり、「このやらされ感が最大の悪」と強調。残業ゼロを目標にし、『常に考える』の理念で仕事の工夫をし、残業なしが利益につながっているといいます。営業日報がなく、あるのは情報日報であり、人事評価制、成果主義もありません。それは人間が人間を評価する難しさがああり、年功序列を基本としています。

社員の力が会社の力であり、未来工業の差別化です。山田社長は「社員あつての会社です」とまとめました。

第10回庄内支部総会

原点回帰、「社長の学校」再出発!!

5月16日、第10回庄内支部総会が東京第一ホテル鶴岡に於いて行われました。今回は多くの来賓の方にご臨席をいただき、社員・ゲスト経営者も含め、総勢41名が集まりました。

総会では、支部長に佐藤知志氏(㈱大山ボデー 専務取締役)、副支部長に工藤規行氏(㈱工藤 代表取締役)、小寺祐也氏(㈱寝装こでら 代表取締役社長)、野口高志氏(㈱ニーズ 代表取締役)を含めた14名の役員が決定しました。

また、今年度方針として「原点回帰、『社長の学校』再出発!!」をスローガンに、「よい企業づくり」「よい例会づくり」「よい仲間づくり」を3つの柱として、「人を生かした企業づくりをする」「組制度の導入」「100名の仲間づくり」等の具体的な取り組みが提案され採択しました。

引き続き行われた記念講演では、「中小企業の社会的役割と、ソーシャルビジネス」と題し、東北公益文科大学非常勤講師 渋川智明氏が講演しました。

ソーシャルビジネスのキーワードは共助社会であるとし、中小企業は地域に根差した経営、地域のニーズに沿ったビジネスの展開はソーシャルビジネスの要素があるといいます。その共通性として、①少子高齢社会における公的介護保険の上乗せサービス②乳幼児・学童保

育サービス③農業6次産業化④シャッター商店街活性化⑤コミュニティ再構築(24時間見守り・防災機能)⑥人口減少社会と地域経済振興を挙げました。

また、日本のソーシャルビジネスの現状をイギリスと比較した例を挙げ、イギリスは事業所数5500・常勤従事者77.5万人・市場規模5.7兆円に対し、日本は事業所数800・常勤従事者32万人・市場規模2400億円とまだまだ意識や取り組みが低く、これからの発展していける可能性を述べました。

最後に「中小企業は何が出来るのか?」という部分に対し、「本来の事業をやりつつソーシャルビジネス的なマインドをもつ」「NPO法人や公益社団財団等の組織を立ち上げ、本業と連動させていく」の2つを挙げ、ソーシャルビジネスマインドが庄内の新しいビジネスチャンスを生み、人口減少社会や消滅都市に対しての新しいきっかけになると呼びかけました。



おらだもエネルギーしてみっか!

シリーズ「おれもやってみた」編 ～食とエネルギーは一次産業から～

6月12日、「おらだもエネルギーしてみっか!」をテーマとして、食・農部会主催のエネルギー学習会が山形ビッグウイングで開催されました。

昨年に引き続き第2回目となる今回も、ソーラーワールド(株)代表取締役武内賢二氏(さくらんぼ支部)を講師に迎え、「シリーズ『おれもやってみた』編 ～食とエネルギーは一次産業から～」と題して講演しました。



「しょうがないベコスト」はしょうがない?

武内社長は冒頭、「エネルギーがないと、生活も事業活動も営めないことを認識する必要があります」との問題提起から始まりました。エネルギーコストをもっと身近に感じてほしい、月々どのくらい払っているのか明細を見てほしい。経費の中の固定費、それもエネルギーの部分を「使った分を払うのはしょうがない、「しょうがないベコスト」にしないで、下げることが出来る経費だと認識してほしい」と語ります。

我々は何ができるのか?

また、エネルギーは「発電」と「熱」の二つに分類され、自社にどちらのエネルギーが必要なのか考える必要があるといいます。その上で私たちに出来ることはなんですか?これも「自社のエネルギーコストを減らしていく」「エネルギー産業に参入する」の二つがあり、太陽光発電に参入しやすくなっている現状を紹介しました。

世界はここまで来ている

オーストリアでのエネルギー産業は民間連携が主になっており、農家が地域の暖房用熱を供給する事業を起こ

したり、板金会社が自社用のバイオマスボイラーを導入し、使いきれない熱を地域に供給している例を挙げました。地域の木材を燃料としているので、為替等に左右されることもなく暖房費も抑えられ、地域にとってはその会社がなくなると困る存在になっています。

そしてそのバイオマス事業により、化石燃料事業に比べ10倍以上の雇用創出が生まれており、バイオマスのエネルギー産業自体がなくてはならないものになっています。

最後に

省エネも大事ですが、これからは創エネも重要なものになってきます。山形県では年間数千億円のエネルギーコストが県外に流れています。そのお金が山形に落ちればどのくらいの雇用を産み出せるのか?その部分をオーストリアでは取り組んでいます。

結果オーストリアは世界から注目され、視察を含めた観光産業も盛んになり、過疎化といわれた村にホテルが建ち、そこからまた雇用が生まれる状況になっています。

我々中小企業でも創エネをすることは、於いては雇用創出までつながり、地域を盛りあげ発展させていくことができると締めくくりました。



会社の元気を地域の元気に 女性が学ぶ！女性に学ぶ！共に学ぶ！

6月12、13日、第17回女性経営者全国交流会が、熊本市に於いて開かれました。全国の同友会から550名が集い、山形からも2名参加しました。参加者より感想が届きましたので、紹介いたします。



社員が生きがいを持って働ける会社になりたい

Hair With Water ディレクター 赤塚治美

この度、私は「女性経営者全国交流会」はもとより、同友会の全国行事に初めて参加させて頂きました。噂に聞いていた以上に、本当に刺激に溢れ心に響く二日間でした。

私は「女性の力を生かした仕事づくり・企業づくり」～企業変革は一人の女性社員の一言から始まった～の分科会を聴講。法人代表男性社長（代表社員）と子会社の女性社長の二名の発表。“社長の経営姿勢の前に自己姿勢”“社長も社員も使命～命をどう使う？”という深いテーマにまで高まったグループ討論は、大阪同友会のグループ長のスキルに脱帽。

「今日の出逢いは一期一会、悩みのある方からまず腹を割って話してみよう」の言葉から始まりました。男性も含めた、心を開く達人の同友会会員は、すぐに深みのある討議となりました。

二日目は、中嶋玲子福岡杷木町元町長の、真の男女共同参画の話に涙があふれました。農家の嫁として虐げられた体験から始まる、彼女の歴史が講義に魂を入れます。1999年を境に大きく変化した日本の経済構造に沿って、ジェンダー問題は積極的是正が必要なこと、女性の能力が認められない陰に、男性

に必要な以上に仕事の負担がかかっていること、そして男性の家庭参加（これは輝々として生きる事にも非常に重要）、多くの問題の突破口として女性自身が女性の能力を生かした実績を作るのが重要と提言がありました。

「一緒に仲良く、といったなまっちょろいもんじゃない！」「女らしさ・男らしさ、その人らしさ」それが実現する社会を「輝々として生きる」と据えて、まずは私たちの会社という「社会」から第一歩を踏み出そうと。

懇親パーティでは、初の着席スタイルでより深く交流でき、熊本はもとより秋田・福島のメンバーから「女性部の立ち上げを山形に学びたい」との言葉を頂き早速視察受け入れの約束をして参りました。

来年は岡山。男性経営者も多く参加するこの会に、是非皆様をお誘いしたいです。女性部で話し合われる問題は、すべて現代の課題に通じていました。より一層、社員が生きがいを持って働ける会社を目指して頑張ろうと、熱く決意しました。

介護における中小企業の役割の大きさを実感

(株)菓子工房ココイズミヤ 代表取締役 庄司 薫



今回で3度目の女性経営者全国交流会への参加でしたが、毎年参加する度に感じることは、男性経営者の参加人数が多くなってきていることです。この度は、男女共同参画について大変多くの学びがありました。

記念講演では、九州初の元女性町長が「輝々として生きる！」という題でお話し頂き、農家の嫁として嫁ぎ、町長となり不当拘留221日間を経たの体験の話で、ここ30年女性の社会進出とともに、こうゆう方が土台となり大きく社会も変わっ

てきたことを実感致しました。今後、男女がお互い認め合って人権を尊重してゆくことが、男女平等の「輝く社会」をつくる第一歩なのだと思います。

分科会は、広島同友会女性部が8年前から取り組んでいる「介護問題」についての分科会でした。いつかは自分も・・・とゆう気持ちで報告を聴き始めましたが、驚いたのは今や介護は中堅男性社員の問題で、50代の男性が一人で親の介護をしている割合がここ10年で倍に増えているとゆうこと。さらに子育てとは違い、先が見えず、長い介護休暇が、退職につながる率が高く、中小企業にとっては人材の損失になりかねない時代になってきたとの報告を聞いて、人の生き方、家族のあり方の多様化の変化を実感し、改めて今後の介護を考える機会となりました。報告者の春日さんの膨大なデータによって介護状況を知ったことも大きな学びとなりました。

介護における中小企業の役割も大きく経営者自身が介護情報にも精通し、社員にも情報啓発してゆく企業環境が作られてゆくことの必要性を感じました。

7月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

庄内支部

会社の危機

～社長としてやっていないことを見つめなおす～

2014.7.15 (火) 18:30～

場所：鶴岡市総合保険福祉センター「にこ♡ふる」
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者：(有)菅原運送 代表取締役 菅原 司氏

昭和40年代、父がオート三輪で実家の豆腐配達をしていたことから起業。地域に役立つ会社を目指していましたが、菅原社長が入社した頃は、社員と良い関係を作れず仕事から離れてしまったこともあったそうです。社長就任後モリストラや車の売却を経験し、「全ては自分の甘さのせい」と語ります。これまでの反省から気づいたこと、今後何を大切にしていけるかを本音で語っていただきます。

山形支部

わいわいビアパーティー

2014.7.16 (水) 18:30～

場所：パレスグランデール
山形市荒橋町1-17-40 ☎023-633-3313

参加費：6,000円

暑い夏がやってくる!ということで、今年も恒例のビアパーティーをニギニギしく開催致します。夏バテや景気問題を吹き飛ばし、英気を養いましょう。今回は会員間の交流を深める意味合いを込めまして、会社のこと地域のことをざっくばらんに語り合う場とします。また、同友会を更に活かせるように、各委員会や部会の紹介もごさいます。ゲスト参加も大歓迎ですので是非ご参加ください。

置賜支部

ビアパーティー

2014.7.17 (木) 18:30～

場所：オステリアEST
南陽市赤湯823-3 ☎0238-43-6006

参加費：4,500円

よりどころとなる同友会をめざす置賜支部の7月例会はビアパーティーです。新しく作成した山形同友会のDVDを上映後、経営のこと、同友会のこと、地域のことを冷えたビールを片手に語り合います。

大きく変化する今、経営者の熱い思いが企業と地域の未来を切り拓く鍵です。お互いの交流を深め合い、明日の経営の種を持ち帰りましょう。どなたでも参加できます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

さくらんぼ支部

あまり使っていないよね?同友会の事 ～指針落第生はいかにして同友会とつきあってきたか～

2014.7.22 (火) 18:30～

場所：さくらんぼタントクルセンター 視聴覚室
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者：(有)ライフバンク保険やまがた
代表取締役副社長 伊藤尚彦氏

伊藤氏は支部幹事、政策委員長を歴任し、2013年度から山形支部長を務める。

1989年に勤めていた叔父の会社から独立し、保険代理業を起業した氏は、経営に無知なことを知人に相談したところ、同友会を薦められ1990年3月に入会する。

入会后、経営指針を作る会に参加するも2年連続で終了できなかった。その後も同友会の考え方を自分なりに解釈して経営に生かしてきたが、それは“生かしてきたつもり”に過ぎなかったことに気づかされることおきる。

現在、中期計画に則って合併をし、次の目標に向かっていく途中の経過報告を、会社の発展の上で見えてきた“他との差別化”の実態とともに報告する。

寒河江支部

ビアパーティー

2014.7.23 (水) 19:00～

場所：Food Barびーしゃいん
寒河江市本町2-1-37 ☎0237-85-5354

参加費：4,000円

第2回女性部例会

決算書の読み方Part2 ～数字に強くなろう～

2014.7.17 (木) 13:30～16:00

場所：同友会事務所
山形市南館3-26-26 ☎023-645-5500

講師：兼子会計事務所 所長 兼子和伴氏(税理士)

第2回女性部例会は、「決算書の読み方」です。講師は昨年に引き続き兼子会計事務所 所長の兼子和伴税理士を迎え、決算諸表(損益計算書・貸借対照表)の基本的な読み方と損益分岐点の求め方を学び合います。

「仕事は忙しかったのに利益がともなわない」という声がよくあります。黒字にするための売上目標いくらなのか?この機会に基本を学び、数字に強い経営者への第一歩を踏み出しましょう。

ざっくばらんな雰囲気でご参加いただけます。どなたでも参加できます。この機会にお気軽にご参加ください。

第3回理事会報告

◆日時:2014年6月11日(水)16:00~17:50 ◆会場:同友会事務局

◆出席:西塔、青柳、及川、齋藤(伊藤(尚)、安藤、佐藤(弘)、若木、水沢、奥山、佐藤(松)、庄司、阿部、小林、越前屋、伊藤(誠)、大場、川合 ◆事務局:伊藤、矢作、高橋(21名)

及川副代表理事が議長を務め、初めに西塔代表理事が開会挨拶を述べ、「中小企業家しんぶん3/25号の“円卓”」を読みあげて紹介し、同友会の運営について「自主・民主・連帯の精神に照らし合わせてどうなのか確認し合うことの大切さと企業経営でも活かしていこう」と述べた。

議事は下記のとおりです。

■報告事項

【行政関連】

- 1)山形新聞社訪問(6/5)西塔代表理事、中村代表理事、青柳副代表理事出席
- 2)きらやか経営者セミナー(6/5)西塔代表理事、安藤理事出席
- 3)山形労働局長、県商工観光労働次長来局
高卒者就職支援依頼(6/6 後藤副代表理事、佐藤理事)
- 4)米沢市中小企業振興条例検討委員会推薦依頼の件(米沢市)
置賜支部より、佐藤松雄社長に依頼し承諾。

【中同協】

- 5)中同協第4回幹事会(6/5)に安藤理事が出席し報告があった。

【山形同友会】

- 6)事務局就業規則修正(案)が提案され承認された。
- 7)同友会規約検討委員に下記の委員が推薦され、承認された。
委員長:青柳副代表理事 委員:西塔代表理事、中村代表理事、齋藤専務理事、伊藤(尚)理事、若木理事
- 8)2014年5月月次決算報告

■承認事項(入・退会承認) 2名入会 2名退会 6/11現在 会員数 405名

■討議事項

議題1:第30回定時総会の件

副実行委員長の伊藤(誠)理事より、第30回定時総会の総括(特徴、次年度への課題)と収支報告があり承認された。

議題2:外形標準課税適用拡大への対応について

安藤理事より、中同協「外形標準課税適用拡大」反対の中同協会長談話の報告があり、山形同友会としても反対していくことの提案があった。西塔代表理事より「外形標準課税」について、課税対象が中小企業に適用拡大された場合、赤字企業への税負担が大きな影響を及ぼすと説明した。反対することを決定し、代表理事名でプレスリリースをすることを決定した。

議題3:会員増強の取り組みの件

1)増強活動の件

組織委員長の安藤理事より、第1回組織委員会の報告と、増強活動の行動計画が提案され、下記の点が決定した。

- ①全会員に入会対象者の紹介をお願いする。(1会員2名目標)
- ②各理事に5名の紹介をお願いする。(e.doyuにUPし、情報を共有する)
- ③増強月間の設定。7月・11月・2月の3回実施
 - 7月増強月間:毎週金曜日に各支部長が安藤組織委員長に活動報告をする。

- ④新会員オリエンテーションを毎月開催し、7月から開催予定。
 - ⑤最上支部立ち上げの準備 さくらんぼ支部中心に活動していく。金融機関への協力依頼することとなった。
 - ⑥ゲスト訪問等に使える冊子を作る。
 - ⑦仲間づくりニュースの発行
 - ⑧事務局は、支部役員と連携し、会員訪問を強化し退会防止に力をいれる
- 2)組織委員会補正予算の件

増強ツールとして新しい案内チラシを作成することが決定し、チラシ作成プロジェクトチームを結成する。委員に西塔代表理事、水沢理事、佐藤(弘)理事、木村寒河江支部幹事を選出。チラシ作成費用等を含め、次回理事会に補正予算を提案する。

議題4:北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会の件

実行委員長の青柳副代表理事より、タイムスケジュールと役割分担、グループ討論の説明があり最終確認をした。

参加状況の報告があり、山形同友会では役員研修会の位置づけが取り組まれることから、各支部、委員会への参加呼びかけをすることを決定した。

議題5:リース車両の自動車保険の件

青柳副代表理事より、公募の結果4社から応募あり、選考の結果、(南)ライフバンク保険やまがた、西村総合保険の2社を選定したことが報告され承認された。

議題6:中小企業庁 北川長官 記念講演の件(主催:自由民主党山形支部総会)

青柳副代表理事より、中小企業庁 長官 北川慎介氏の記念講演の案内依頼について提案があり、全会員にe.doyuで告知することを決定した。なお、同友会は、どの政党に対しても対応していくことを確認した。

■その他

- 1)第17回女性経営者全国交流会(6/12~13熊本) 赤塚氏、庄司理事出席
- 2)第46回定時総会(7/10~11 新潟)の参加の件 目標:10名
参加予定者:西塔代表理事、中村代表理事、安藤理事、阿部理事、奥山理事、事務局伊藤
- 3)事務局の担当について報告され、下記のとおり確認した。

氏名	県	委員会	部 会	支 部
伊藤		社員共育・地域活性		さくらんぼ
矢作		経営指針・共同求人	女性部会	寒河江、置賜
高橋		組織	食・農部会	山形、庄内

4)第4回理事会の開催日程について

- 日時:7月9日(水)午後4時~午後6時
 - 会場:同友会事務局
 - *会場が手狭になっていることから、今後、会場の検討することとなった。
- 閉会挨拶 青柳副代表理事

新会員紹介

◎中村 元大氏
(有)鮮魚かねに 代表取締役
業種 鮮魚、仕出し
山形支部

支部・
会員名・
企業名・
役職変更

- オフィスケイ(山形支部) 代表 三沢佳代氏
⇒ 合同会社オフィスケイ 代表社員 に変更
- 株新和ビルド(山形支部) 取締役部長 新野義章氏
⇒ 専務取締役 に変更
- 株カック(山形支部) 代表取締役 渡邊岳巳氏
⇒ 伊淵電太郎氏 に変更
- (有)水沢設備(庄内支部) 専務取締役 諏訪信秋氏
⇒ 代表取締役 に変更

同友やまがた7月号(2014年7月1日発行/通巻256号)

From Editor

★「がんばって、がんばって仕事!」のメロディーとサラリーマンが栄養ドリンクを飲むCMは記憶にありますか。後にニュージーランドのラグビーチームオールブラックスが試合前に踊る“ハカ”であること知っていますが、本来はマオリ族の戦士が戦いの前に、手を叩き足を踏み鳴らししらの力を誇示し、相手を威嚇する舞踊とのこと。戦士の踊りから採用されたCMだったのでしょか。★「企業戦士」「一強百弱」「勝ち組、負け組」「生き残り」「激変消滅」と日本経済の成長から生まれたものです。大企業対中小企業、強者対弱者と固定化し、生き方にまで勝ち組、負け組と線引きすることも日常化してきました。エコノミックアニマルと言われた時代を生きてきた私たち世代は、誰よりも頑張

ることがあたりまえのこととし、同じような人生のシナリオを描いてきたのかもしれない。★先日、社員共育委員会主催のメンタルヘルスの学習会がありました。高度経済、バブル経済でカネに躍らされ、常にプレッシャーの中で成果を求められる時代となり、ストレス、心の病気、心の病気による労災事故が増しているとのこと。★松下幸之助の残した言葉「松下の従業員は幸せに働いているか」の紹介があり、メンタルヘルスの最終目標が、働く人びとの幸せ追求であること、同友会がめざす企業づくりに納得。経済成長のなかで、心の豊かさを置き去りにしてきたのではないか。立場の違いはあっても、“生き方”に強者も弱者も、勝ちも負けもあってはならないと思うのです。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp